

2011年3月期 第2四半期 決算説明会

東京製綱株式会社

(TOKYO ROPE MFG. CO., LTD.)

2010年11月24日

目次

2011年3月期 第2四半期 決算の概要

2011年3月期 見通し

新中期経営計画の進捗状況

2011年3月期 第2四半期 決算の概要

2011年3月期 見通し

新中期経営計画の進捗状況

2011年3月期 第2四半期 決算ポイント

スチールコード事業が回復・伸長し、増収増益

売上高 328億2百万円 [前年同期比 +3.7%]

国内スチールコードが回復、海外スチールコードは伸長

営業利益 8億50百万円 [前年同期実績3百万円]

タイヤコード数量回復、ソーワイヤ売上増加で増益

四半期純利益 △4億83百万円

資産除去債務、投資有価証券評価損による特別損益
△8億64百万円を含む

2011年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	10/3 1・2Q	売上高比	11/3 1・2Q	売上高比	前年同期比	
売上高	31,641	—	32,802	—	+1,161	+3.7%
営業利益	3	0.01%	850	2.6%	+847	+28,233%
経常利益	△325	△1.0%	555	1.7%	+880	—
四半期 純利益	△567	△1.8%	△483	△1.5%	+84	—

セグメント別の状況（売上高）

鋼索鋼線：ロープ若干増加も海底ケーブル用ワイヤ減少

スチールコード：タイヤコード数量回復と中国ソーワイヤ伸長

開発製品：前年同期に比し、道路関連製品の売上減少

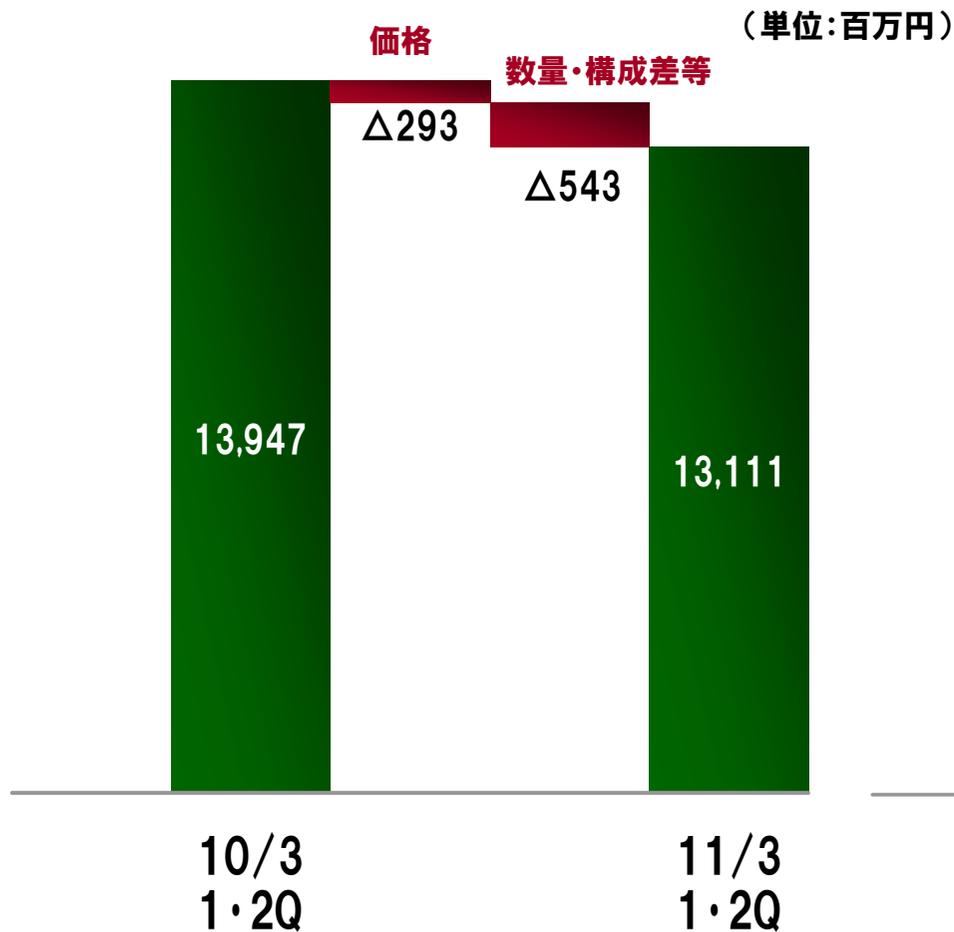
（単位：百万円）

	10/3 1・2Q	構成比	11/3 1・2Q	構成比	前年同期比	
鋼索鋼線	13,947	44.1%	13,111	40.0%	△836	△6.0%
スチールコード	8,362	26.4%	11,039	33.6%	+2,677	+32.0%
開発製品	6,002	19.0%	4,529	13.8%	△1,473	△24.5%
不動産	703	2.2%	613	1.9%	△90	△12.8%
その他	2,625	8.3%	3,509	10.7%	+884	+33.7%
合計	31,641	100.0%	32,802	100.0%	+1,161	+3.7%

増減要因分析（売上高）

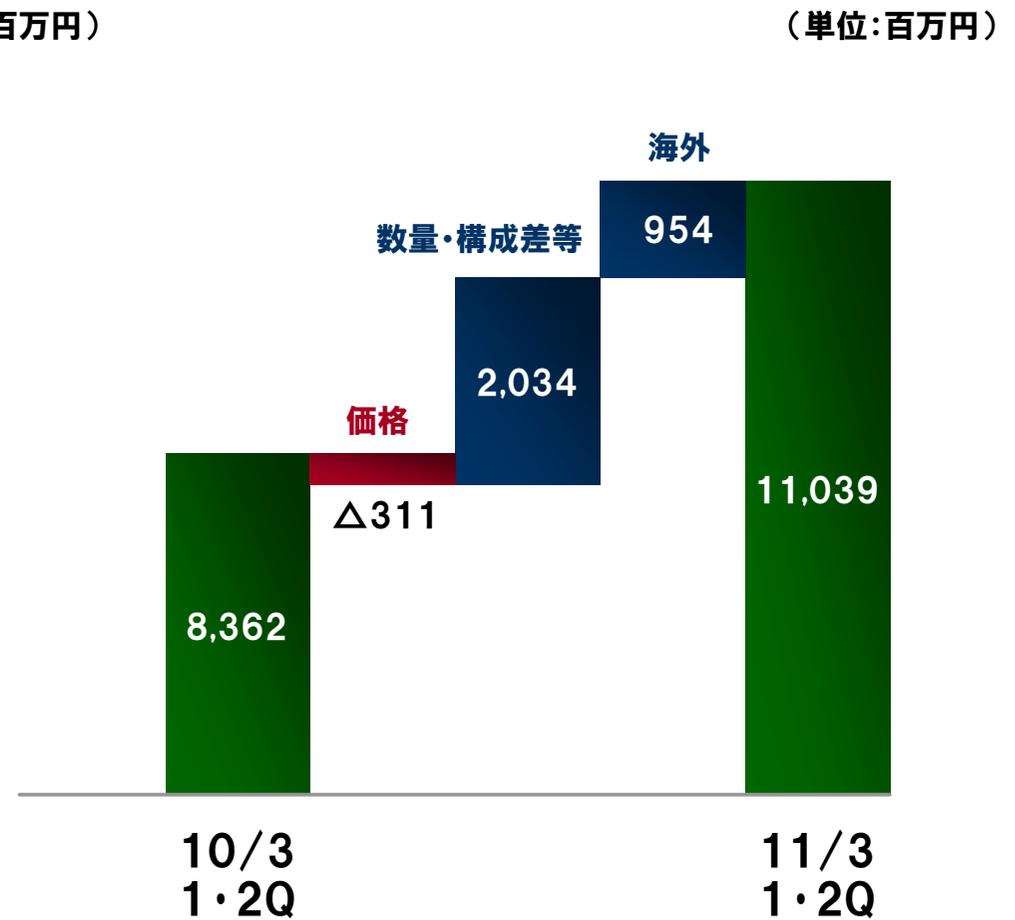
鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ、繊維ロープ



スチールコート

タイヤコード、ソーワイヤ、ワイヤソーなど



セグメント別の状況（営業利益）

鋼索鋼線：売上減少による減益

スチールコード：タイヤコード販売増加とソーワイヤ拡販で増益

開発製品：主に道路関連の売上減少により採算悪化

（単位：百万円）

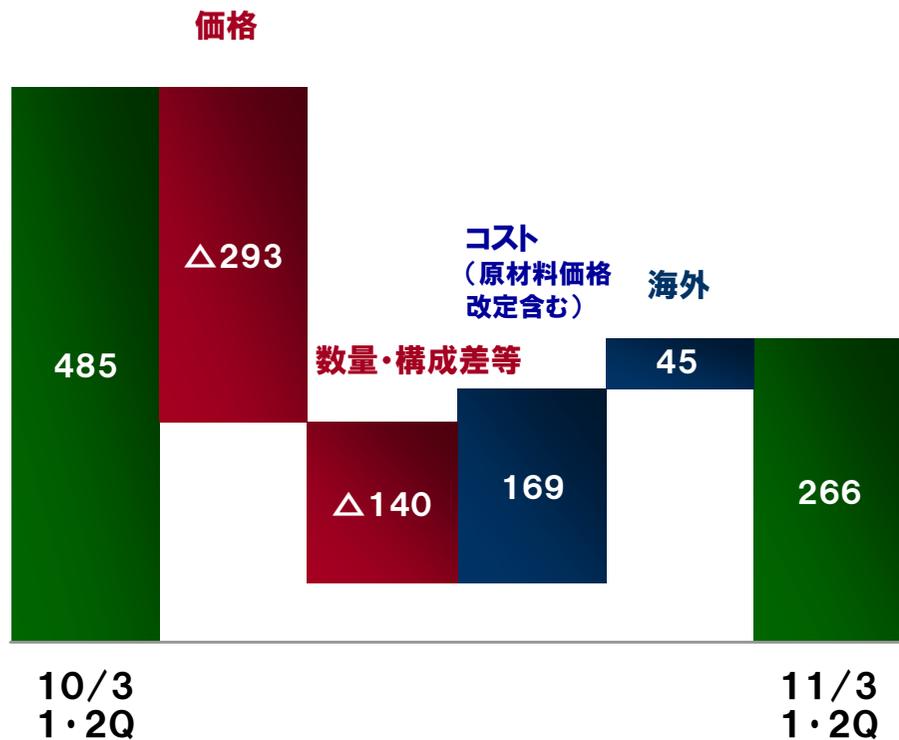
	10/3 1・2Q	構成比	11/3 1・2Q	構成比	前年同期比	
鋼索鋼線	485	—	266	—	△219	△45.2%
スチールコード	△875	—	505	—	+1,380	—
開発製品	104	—	△302	—	△406	—
不動産	368	—	306	—	△62	△16.8%
その他	△79	—	74	—	+153	—
合計	3	100.0%	850	100.0%	+847	+28,233%

増減要因分析（営業利益）

鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ、繊維ロープ

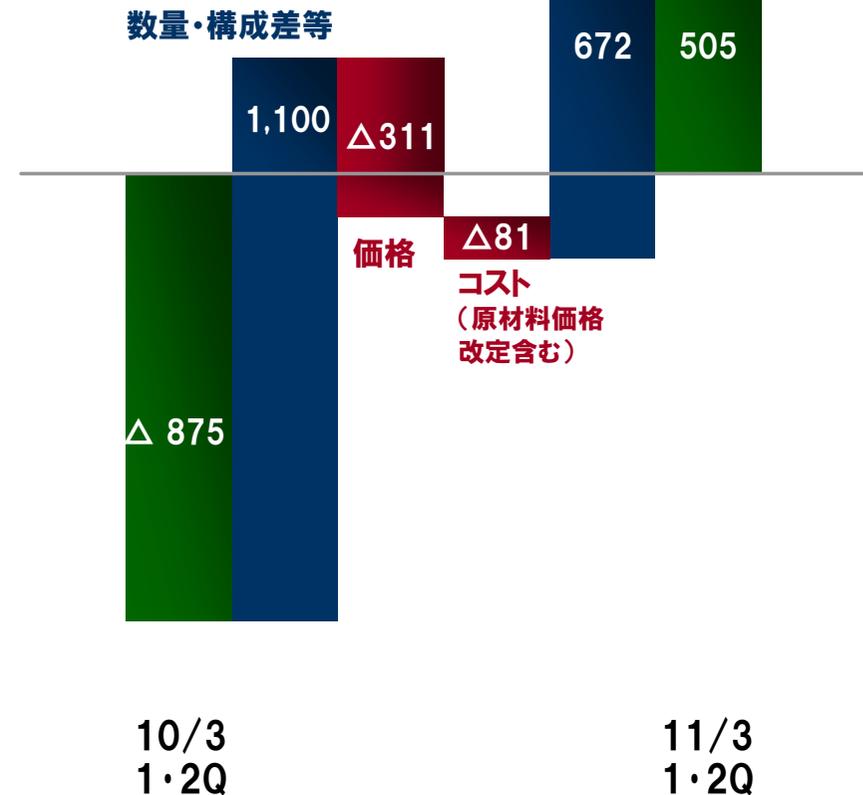
（単位：百万円）



スチールコート

タイヤコード、ソーワイヤ、ワイヤソーなど

海外（単位：百万円）



キャッシュ・フロー

営業キャッシュフローは増加、海外投資と借入一部返済へ

営業活動： 経常利益・運転資金バランスの改善

投資活動： マレーシア工場設立、中国工場増強投資等実施

	10/3 1・2Q	11/3 1・2Q
現金及び現金同等物の期首残高	1,756	1,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	198	5,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,389	△2,729
フリー・キャッシュ・フロー	△1,191	2,878
財務活動によるキャッシュ・フロー	743	△2,286
現金及び現金同等物の期末残高	1,342	2,189

2011年3月期 第2四半期 決算の概要

2011年3月期 見通し

新中期経営計画の進捗状況

2011年3月期 年度見通し

国内外のソーワイヤ販売が堅調に推移。公共工事関連も年度後半の活発化で、全体の増収増益基調に変更なし

売上高 : 740億円 (前期比+2.6%)

営業利益 : 30億円 (前期比+33.0%)

(単位:百万円)

	10/3 実績	売上高比	11/3 見通し	売上高比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	72,138	—	74,000	—	+1,862	+2.6%
営業利益	2,256	3.1%	3,000	4.1%	+744	+33.0%
経常利益	1,623	2.2%	2,600	3.5%	+977	+60.2%
当期純利益	425	0.6%	1,200	1.6%	+775	182.2%

2011年3月期 年度見通し（セグメント別）

売上高

スチールコード拡大で、開発製品減少するも若干増収

鋼索鋼線：ほぼ前期並みで推移

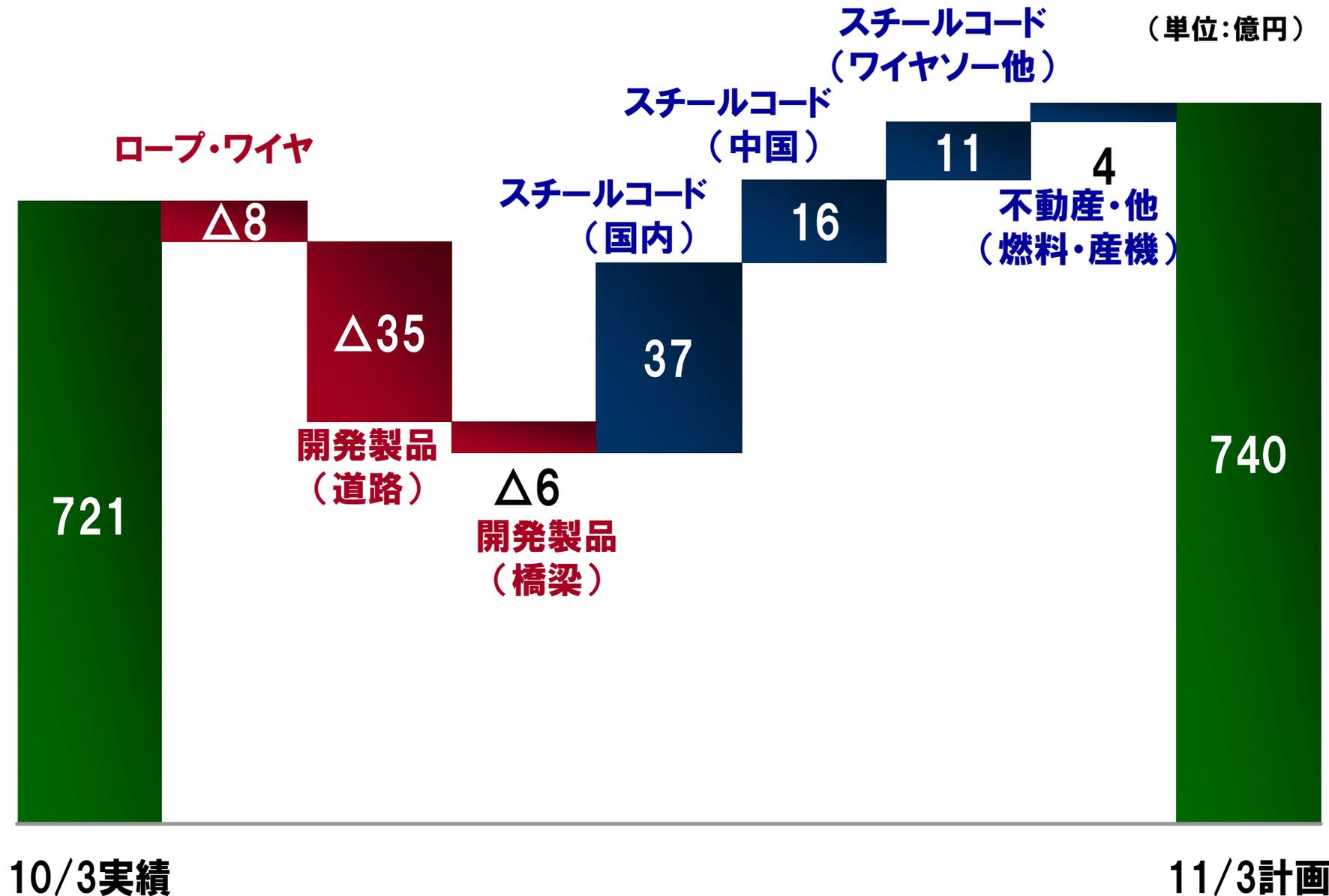
スチールコード：タイヤコード回復と太陽光関連拡大で大幅増加

開発製品：公共工事減少による影響で前期比減収

（単位：百万円）

	10/3 実績	構成比	11/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	26,800	37.1%	26,000	35.1%	△800	△3.0%
スチールコード	18,112	25.1%	24,500	33.1%	+6,388	+35.3%
開発製品	19,085	26.4%	15,000	20.3%	△4,085	△21.4%
不動産	1,380	1.9%	1,200	1.6%	△180	△13.0%
その他	6,760	9.5%	7,300	9.9%	+540	+8.0%
合計	72,138	100.0%	74,000	100.0%	+1,862	+2.6%

増減見通し分析 (2011年3月期 売上高)



2011年3月期 年度見通し(セグメント別)

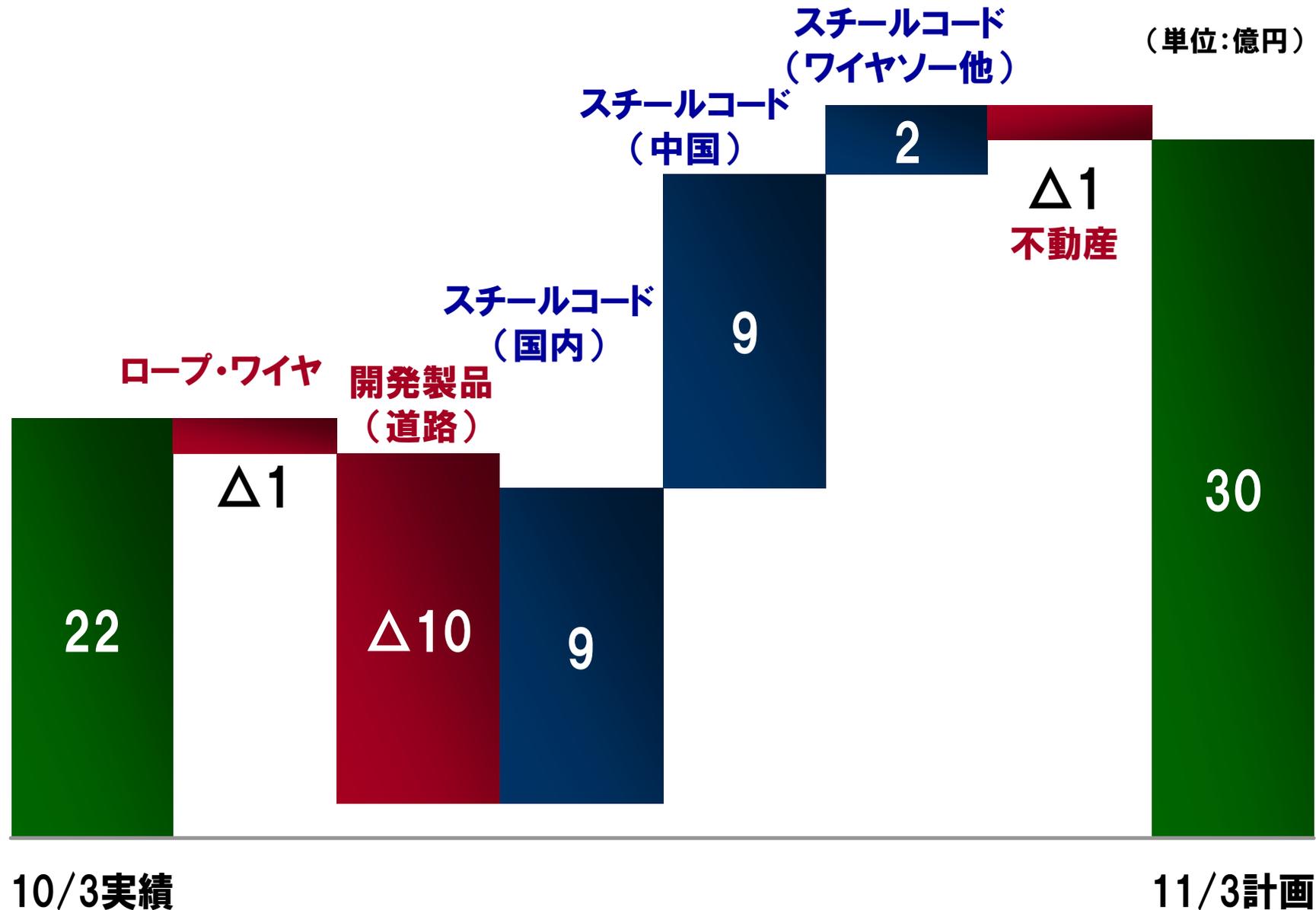
営業利益

スチールコード事業の大幅改善により増益

(単位:百万円)

	10/3 実績	構成比	11/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	796	—	700	23.3%	△96	△12.1%
スチールコード	△913	—	1,100	36.7%	+2,013	—
開発製品	1,564	—	500	16.7%	△1,064	△68.0%
不動産	714	—	550	18.3%	△164	△23.0%
その他	96	—	150	5.0%	+54	+56.3%
合計	2,257	100.0%	3,000	100.0%	+743	+32.9%

増減見通し分析（2011年3月期 営業利益）



2011年3月期 下期の主要製品見通し

ソーワイヤは国内外で売上増、道路関連は下期物件増加

鋼索鋼線関連事業

ロープ・ワイヤ : 海底ケーブル用ワイヤの増加見込むが、建設等全般的な需要低迷により、数量ベースで概ね上期水準が継続と想定。

スチールコード関連事業

タイヤコード	<ul style="list-style-type: none"> ・国内:数量ベースで対上期比横這い ・中国: " (フル生産継続)
ソーワイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・国内:数量ベースで対上期比10%増加見込む(フル生産へ) ・中国: " 期末時点で売上倍増(能力増強継続中)
ワイヤソー	: 中国向けが下期に拡大。来期以降は新設現地工場からも本格出荷

開発製品関連事業

開発製品 : 下期受注増(主に季節要因)により上期比で売上大幅増見込む
但し、前年同期に対しては、受注環境の悪化を織り込む

2011年3月期 下期業績見通し

下期はスチールコードの売上増加と、道路安全施設の販売の伸びにより、増収増益を見込む

(単位:百万円)

	11/3 上	売上高比	11/3 下	売上高比	差異	
売上高	32,802	—	41,198	—	+8,396	+25.6%
営業利益	850	2.6%	2,150	5.2%	+1,300	+152.9%
経常利益	555	1.7%	2,045	5.0%	+1,490	+268.5%
四半期 純利益	△483	△1.5%	1,683	4.1%	+2,166	—

2011年3月期 下期見通し（セグメント別）

売上高

下期型の開発製品の売上が伸長

（単位：百万円）

	11/3 上	構成比	11/3 下	構成比	差異	
鋼索鋼線	13,111	40.0%	12,889	31.3%	△222	△1.7%
スチールコート	11,039	33.6%	13,461	32.7%	+2,422	+21.9%
開発製品	4,529	13.8%	10,471	25.4%	+5,942	131.2%
不動産	613	1.9%	587	1.4%	△26	△4.2%
その他	3,509	10.7%	3,791	9.2%	+282	+8.0%
合計	32,802	100.0%	41,198	100%	+8,396	+25.6%

2011年3月期 下期見通し（セグメント別）

営業利益

開発製品の売上増加により、収益性大幅改善

（単位：百万円）

	11/3 上	構成比	11/3 下	構成比	差異	
鋼索鋼線	266	—	434	20.2%	+168	+63.2%
スチールコード	505	—	595	27.7%	+90	+17.8%
開発製品	△302	—	802	37.3%	+1,104	—
不動産	306	—	244	11.3%	△62	△20.3%
その他	74	—	76	3.5%	+2	+2.7%
合計	850	100.0%	2,150	100.0%	+1,300	+152.9%

設備投資額・減価償却費・研究開発費

TCT- I (2010-2011年度の2ヵ年計画)の設備投資
 (投融資含む)140億円を前倒しに実施中

(単位:百万円)

	10/3		11/3	
	実績	前期比	見通し	前期比
設備投資額 (うち、海外)	2,999 (1,079)	△373 (+291)	9,000 (7,000)	+6,001 (+5,921)
減価償却費	3,724	0	3,600	△124
研究開発費	771	+7	1,400	+629

2011年3月期 第2四半期 決算の概要

2011年3月期 見通し

新中期経営計画の進捗状況

中長期ビジョン～トータル・ケーブル・テクノロジー～

中期ビジョン

TCT- I (ティーシーティーワン)

<長期ビジョン>

14/3期 (H25年度)	売上高	1,000億円
	経常利益	100億円
	営業キャッシュフロー	100億円

<Phase 1> = TCT- I

12/3期 (H23年度)	売上高	800億円以上
	経常利益率	7%以上

当社が追求するTCT (トータル・ケーブル・テクノロジー)

技術的な奥行き
の深さ

- * ケーブル製造
- * 端末加工技術
- * ロープ寿命診断
- * エンジニアリング関連商品
- * 周辺装置など

独自の強みを活かして
グローバル且つトータル
に展開し成長を目指す

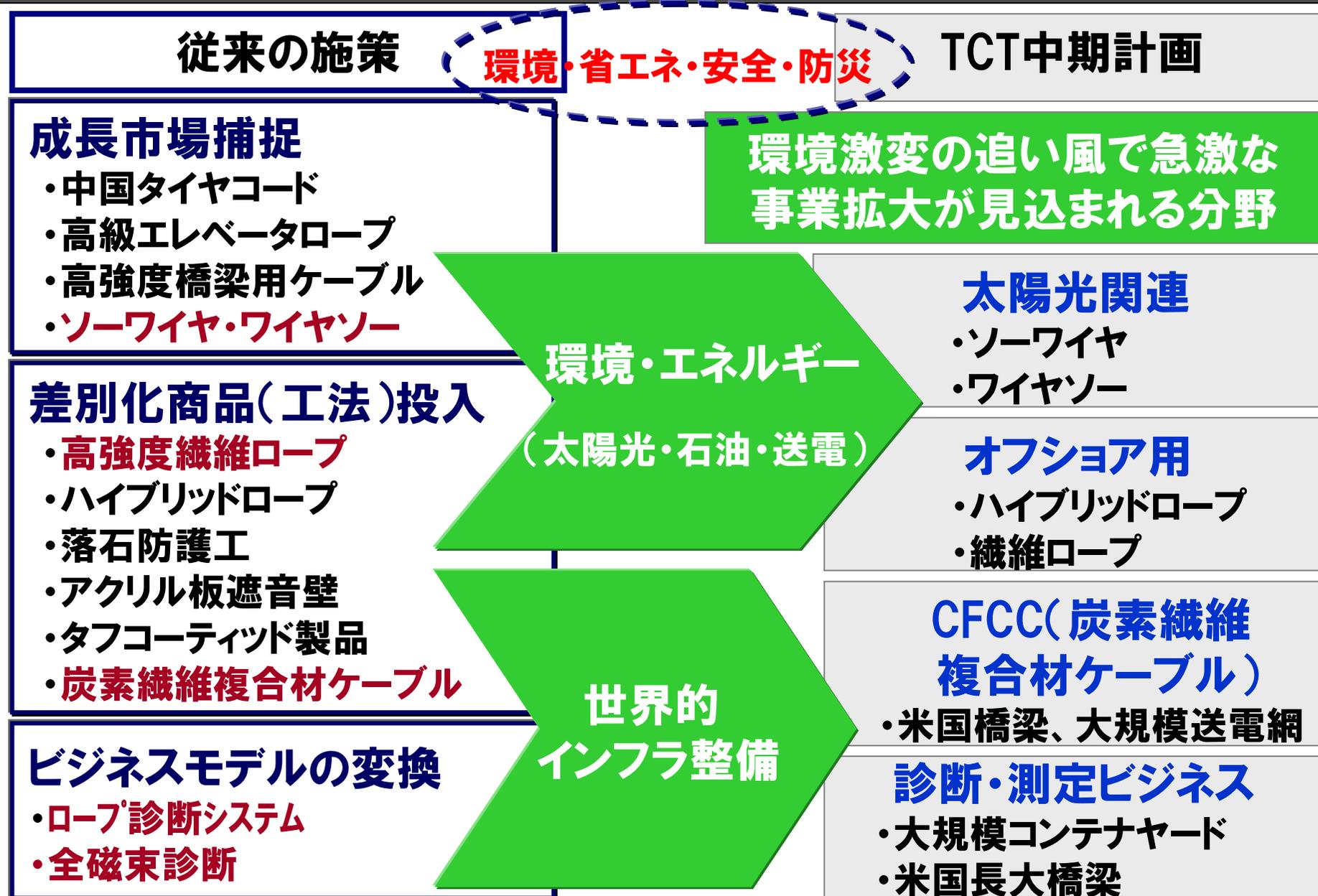
スチール

繊維

炭素繊維

素材の間口
の広さ

成長+差別化+ビジネスモデルの変換を加速



事業セグメント別の環境背景と強化策

		事業環境	強化策
鋼索 鋼線	国内	需要低水準で推移	新製品・差別化商品拡販
	海外	新興国インフラ需要 エネルギー需要増	エレベーターロープ、差別化商品の 拡販（深海用・鉱山用ロープ等）
スチール コード	国内	トラックバス以外は回復 太陽光関連(消耗品)回復	高付加価値品へのシフト
	海外	太陽光関連需要増大	ソーワイヤ能力増強 ワイヤソー海外生産
開発 製品	国内	公共投資抑制	環境・防災関連で差別化商品投入
	海外	世界的インフラ需要の高まり	CIS拠点設立(エンジニアリング分野) 海外橋梁事業の強化、CFCC推進
		新興国台頭による エネルギー需要増	新製品開発による新分野開拓 オフショア事業へ進出（深海用ロープ）

ハイエンド商品による差別化

診断・測定ビジネス

①全磁束腐食診断：本四連絡橋で活用⇒海外展開中

②ワイヤロープ常時監視型「SEMSOR」

⇒製鉄所・造船所、東京スカイツリーのタワークレーン等で採用



「半被覆ロープ」(樹脂被覆で長寿命化)

港湾コンテナクレーン等に採用実現⇒海外へも推進中

玉掛索用ケーブルレイドロープ「柔」(高強度+柔軟性)

破断荷重15%UP (対従来品)

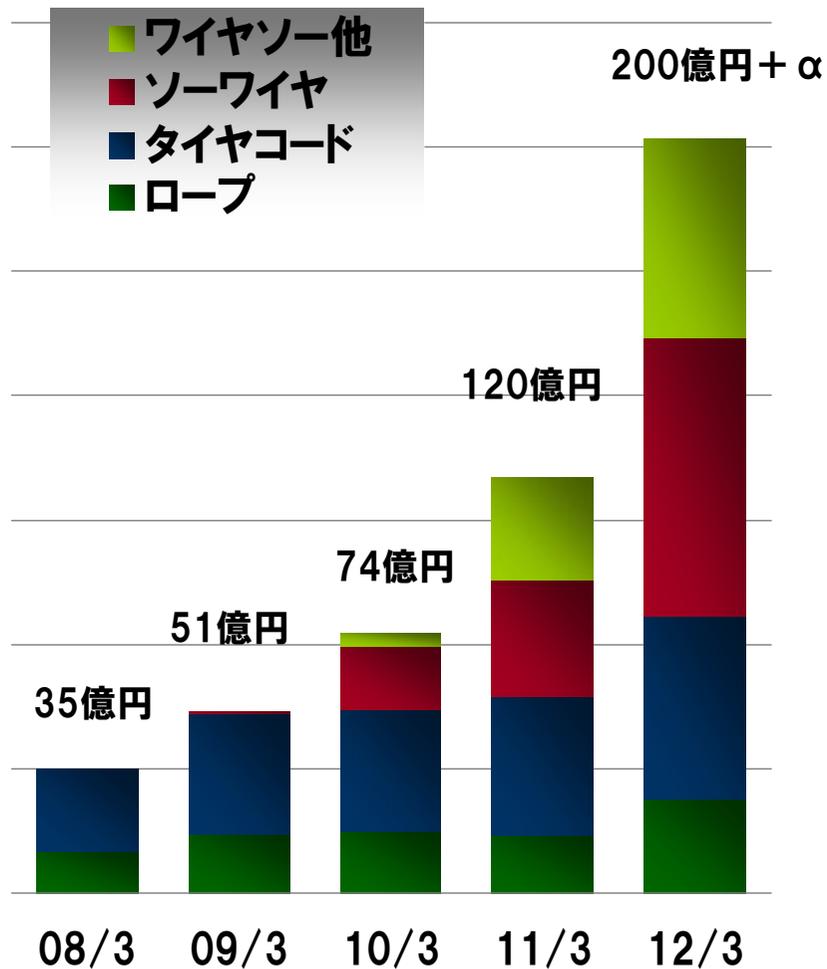
高機能繊維ロープ「エースライン」(スーパー繊維使用)

軽量・高強度・低伸度・絶縁性等の特性で係留ホーサーや鉄代替へ

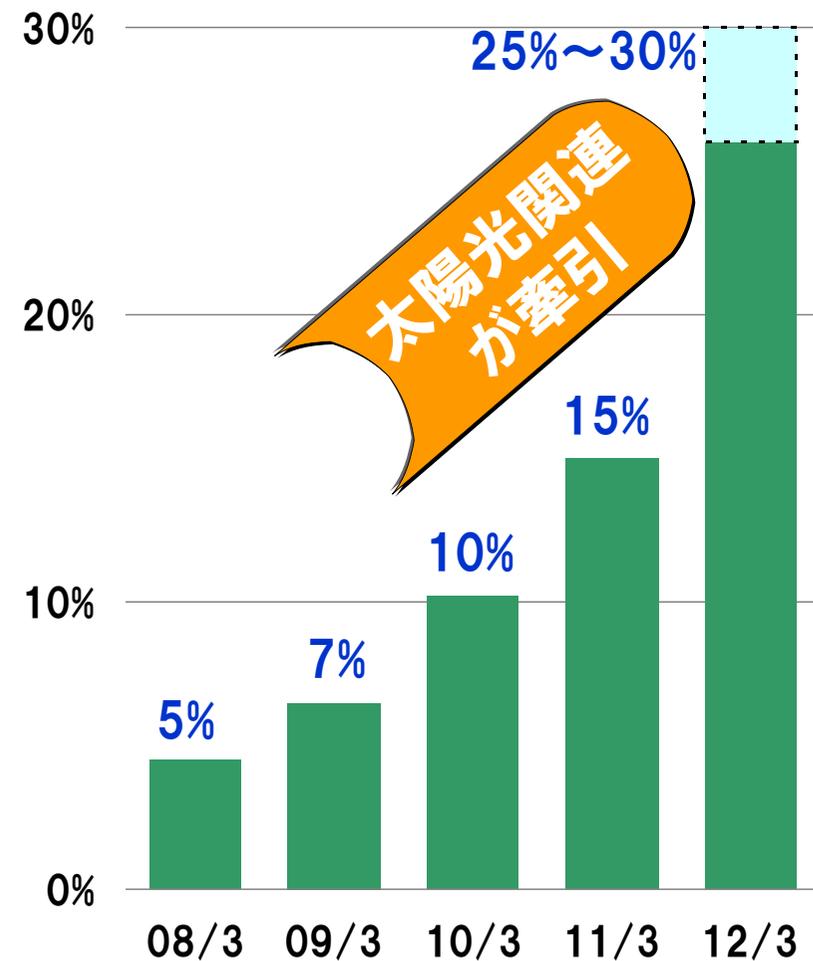
高エネルギー吸収型落石防護工〔開発製品関連事業〕

海外戦略：環境、エネルギー、インフラ分野で事業拡大

海外売上推移



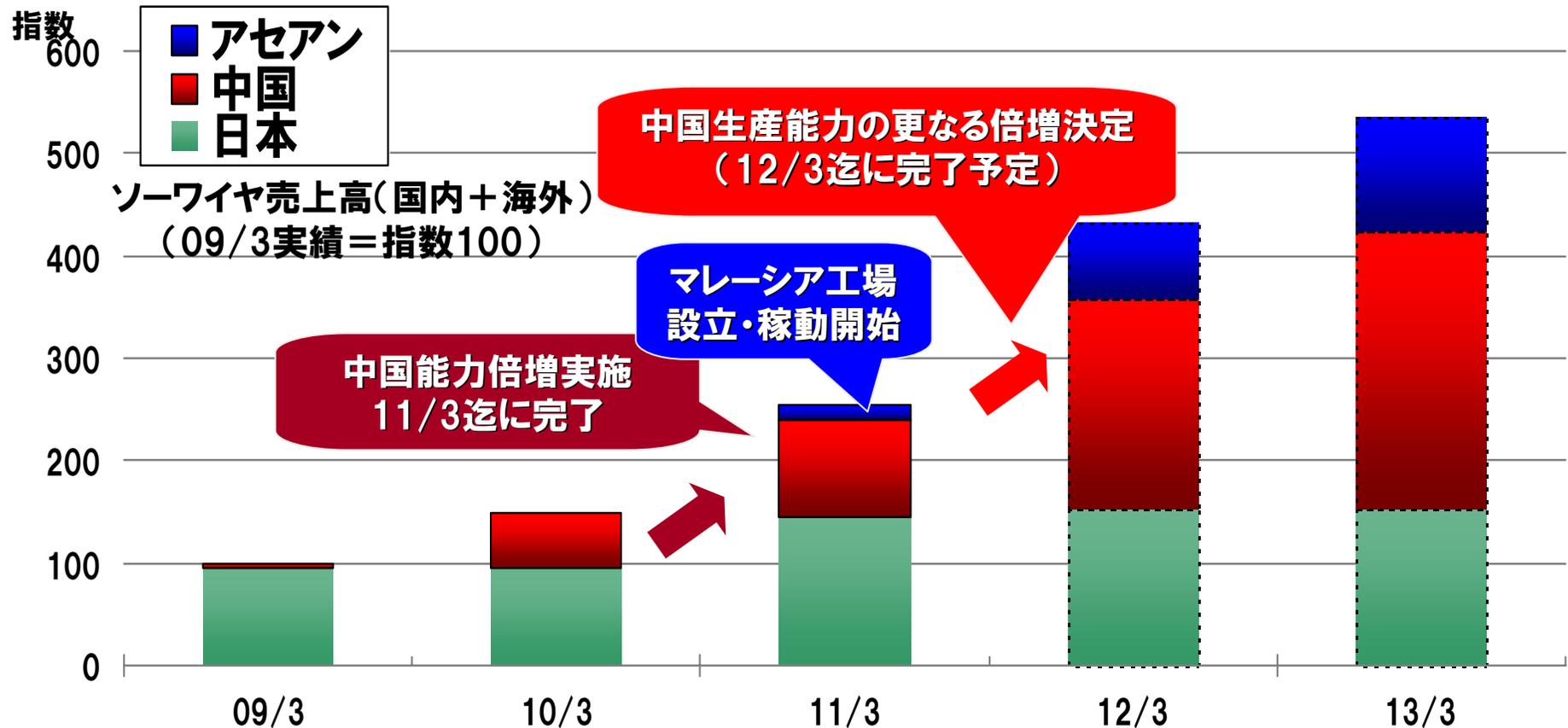
海外売上比率



環境・エネルギー①太陽光関連 海外ソーワイヤ拡販

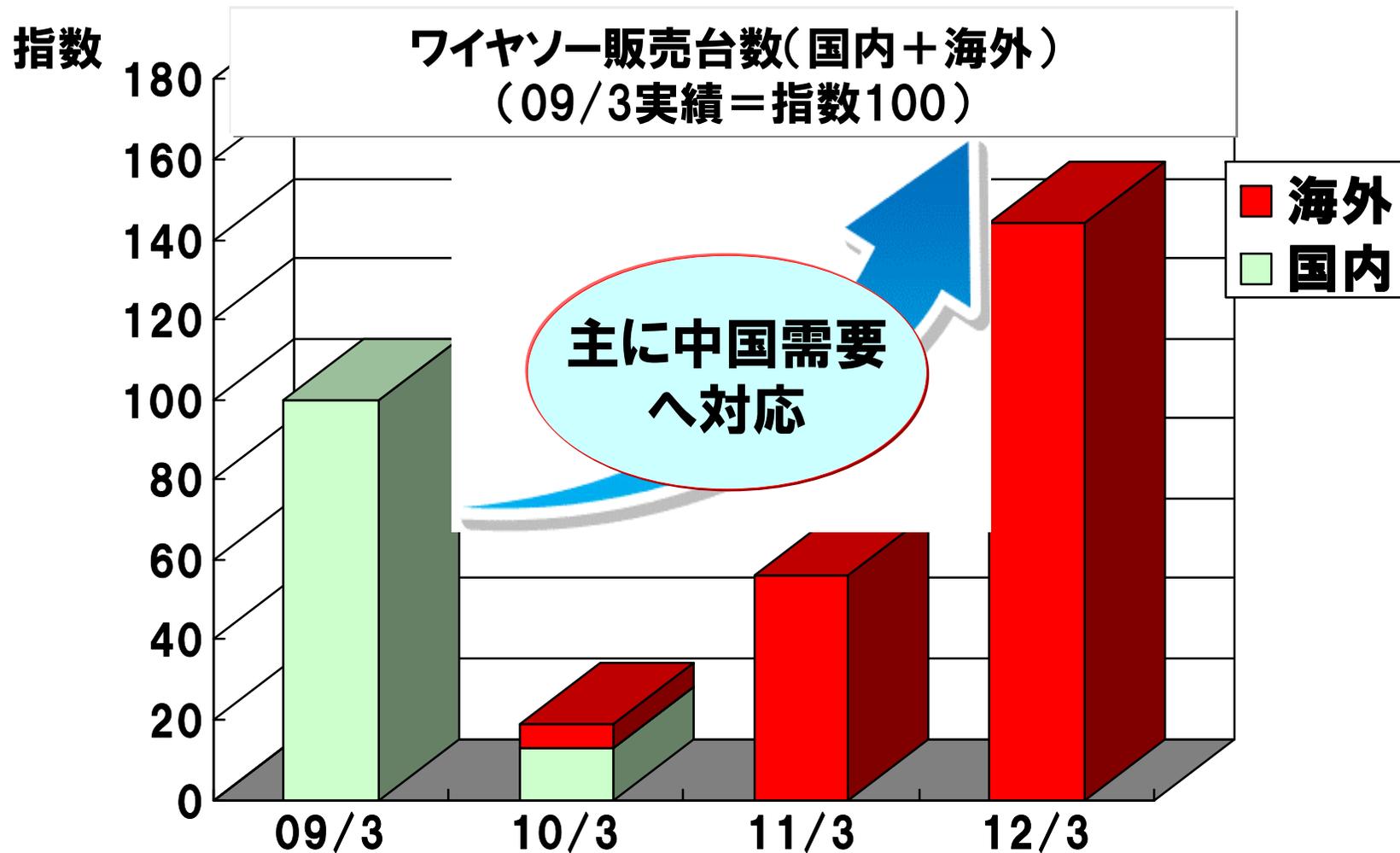
ソーワイヤ：太陽電池産業の成長著しい中国、アセアンで（消耗品）需要増大。海外供給体制を継続拡大中。

海外2拠点は能力拡大、国内2拠点も下期フル稼働へ



環境・エネルギー②太陽光関連 ワイヤソー需要へ対応

**ワイヤソー： 中国工場が稼働スタート
(装置) ソーワイヤ(消耗品)とのシナジーで売上拡大**

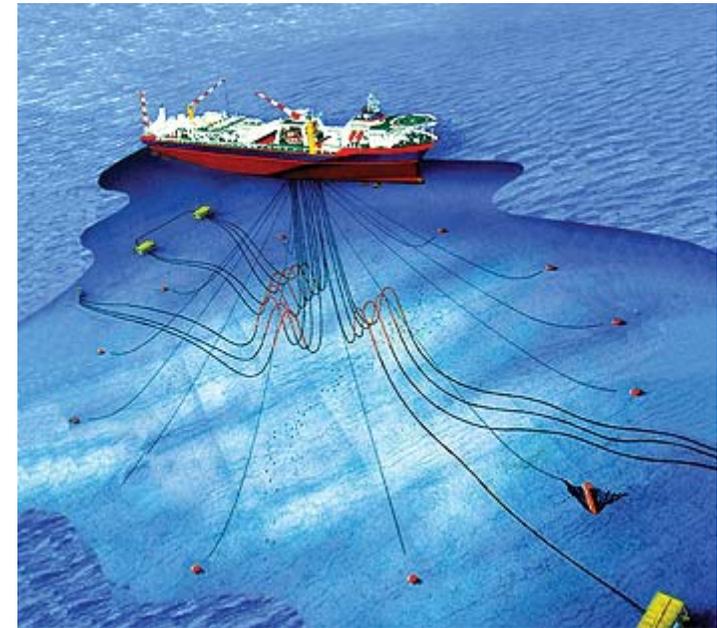


環境・エネルギー③ 海外オフショア事業への進出

海上石油等エネルギー開発用ワイヤロープ事業

深海用ロープ事業への
本格参入計画中

初期投資規模：約10億円(段階的
拡張により総額30～40億円規模へ)



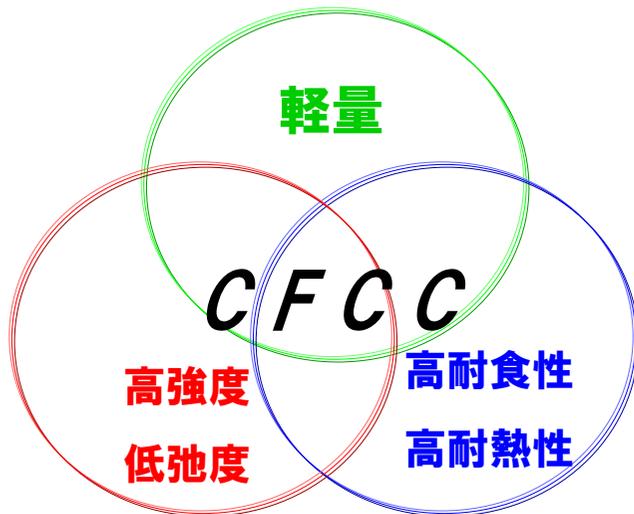
件数		水深(メートル)		
		1000 以下	1000- 1500	1500 以上
5 年 以 内	計画中	71	8	6
	発注済み	13	9	9
5～10年後計画中		19	18	37
合計		103	35	52

深海化が進む海洋開発

←水深別開発プロジェクト数

(出典:IMA)

インフラ①CFCC(炭素繊維複合材ケーブル)事業の展開

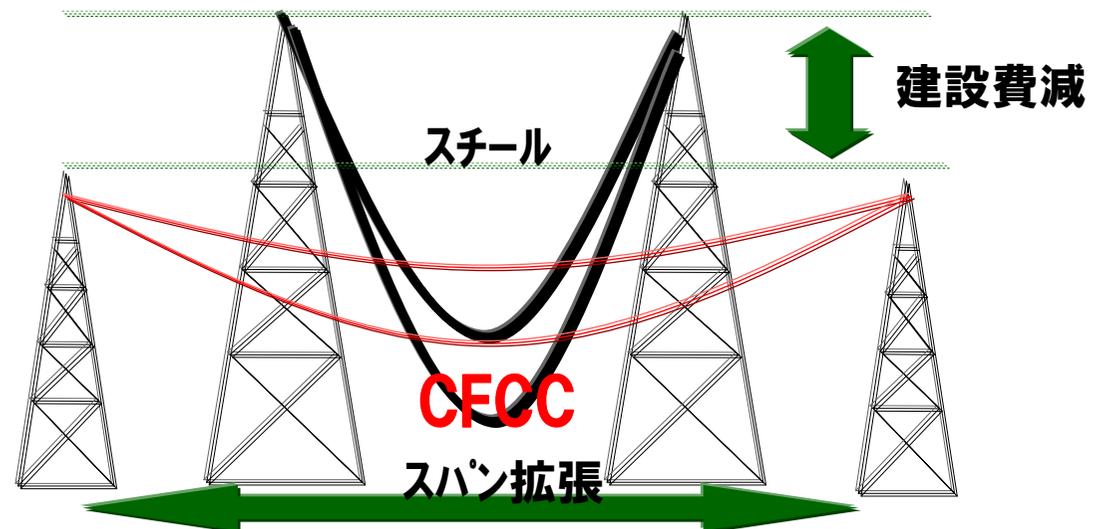


ライフサイクルコスト◎

- (1) 米国コンクリート橋の老朽更新・補修需要
 - ・従来PC橋の補強
 - ・寒冷地・沿岸地(塩害)での腐食対策
 - ・MI州で新規採用
- (2) 各国送電網用途への活用推進
 - ・従来スチールワイヤに代替
 - ・建設費削減、送電容量の拡大メリット

◎橋梁・送電線市場規模:
数百億円以上

◎現在、長尺品生産設備
建設中



インフラ② 海外長大橋ケーブル事業

中国橋梁ケーブル事業の強化：ワイヤ製造と集束の再編

現地パートナー(※)との一体的運用で体質強化

※江蘇法爾勝股份有限公司：中国最大橋梁ケーブル会社

- ①ケーブル用ワイヤ製作事業：従来出資比率35%⇒40%へ
- ②ケーブル集束事業へ出資：新規出資比率40%



安定・効率的な生産・経営体制
⇒市場競争力の優位性確保
⇒世界的インフラ整備へ貢献



インフラ③ その他海外インフラ関連

道路・法面関連での海外展開

- ・2011 カザフスタン アジア大会
- ・2012 ロシア (ウラジオストック) APEC
- ・2014 ロシア (ソチ) 冬季オリンピック

CIS諸国
エンジニアリング製品

などを契機に関連工事需要増加

- ・カザフスタン (アルマティ) 駐在員事務所
 - ・ロシア (モスクワ) 駐在員事務所
- を開設済み



安定的な株主還元を継続

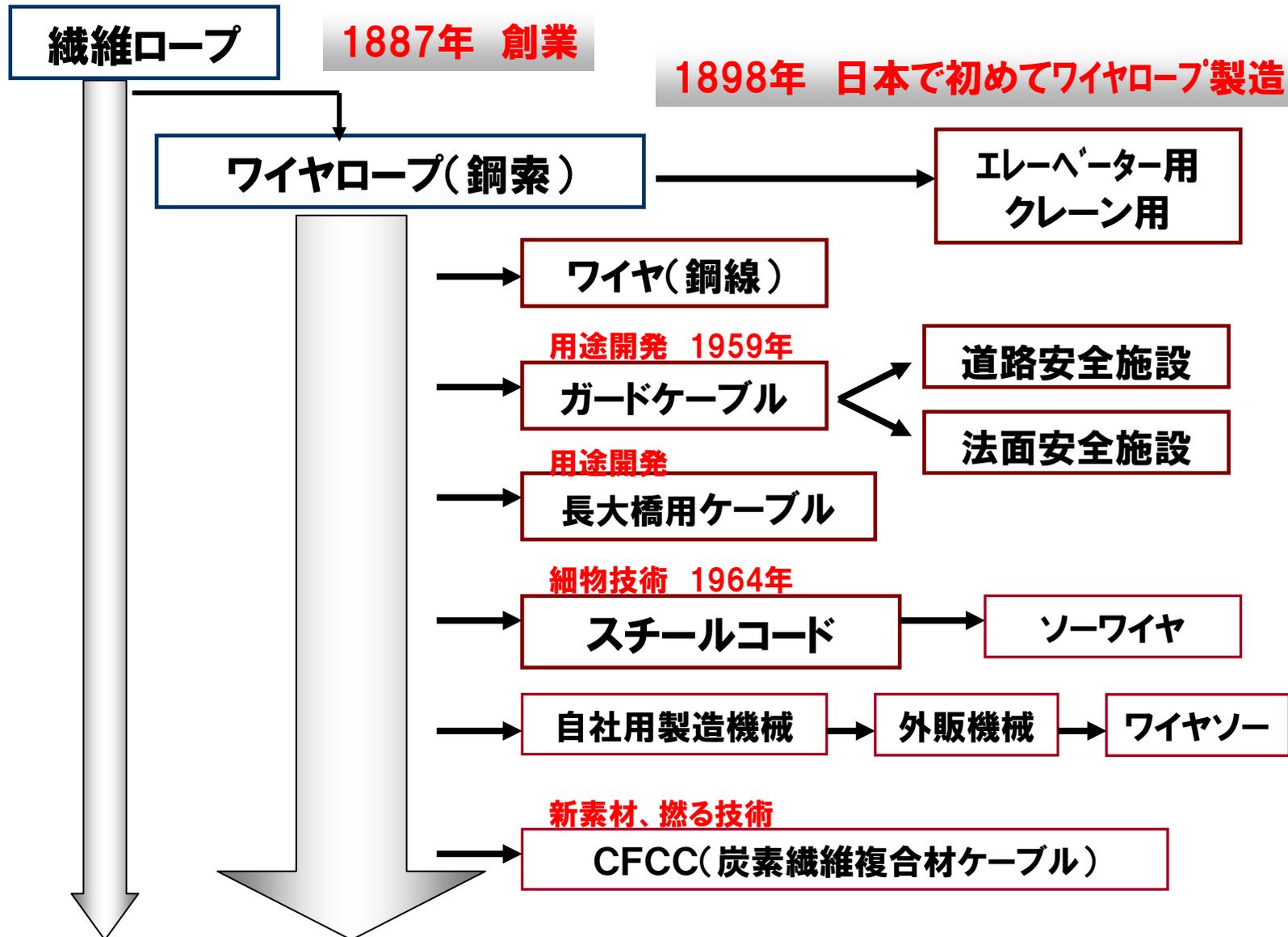
配当額は前期同様の2円50銭を予定

安定配当を最優先

	09/3	10/3	11/3 予定
通 期	2円50銭	2円50銭	2円50銭
配当性向(連結)	—	85.9%	30.5%

参考資料

当社沿革～伝統と実績～



当社の主力製品(ロープ・安全関連＋太陽電池関連)



(鋼索鋼線)

伝統的主力製品
(クレーン用ロープ・エレベーターロープなど)



(鋼索鋼線)

伝統的主力製品
(電力・通信ケーブルなど)



(スチールコード)

自動車タイヤ補強材
太陽電池シリコン切断用ソーワイヤなど



(開発製品)

安全施設・鋼構造物・橋梁
(道路・法面・積雪、橋梁・港湾関係など)

ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

東京製綱株式会社

2010年11月